

1 第244号

日経平均株価

2万2882円65銭

▼326円21銭(前日比)

TOPIX

1604.87

▼11.02(前日比)

2020

8/31

月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社 編集部

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-6-22-417号

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



「風雲急」告げる政局

次期首相次第でマーケット激変!?



次期首相は誰？

今後の焦点は次期首相が誰に選ばれるかだ。自民を中心とする政権が維持されるものの、現在有力候補とされる石破元幹事長、岸田

派で、岸田も安倍路線の維持を掲げているものの、財政再建論者で知られる新コロナ感染下で両氏のどちらかを選ばれれば、

安倍首相の辞任の憶測は事前から噂されてきたが、会見当日にニュースが流れたことで、東京市場はパニック売りを浴びることになった。ただ、通常取引時間帯に報道されたこと

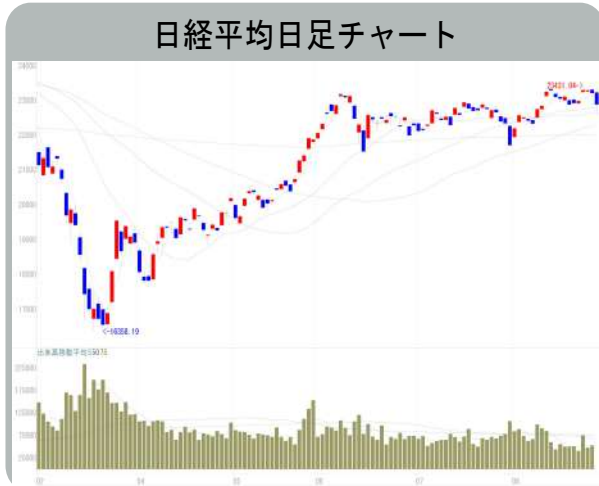
で、今回の悪材料を28日中である程度消化できたことはポジティブ材料。「17時からの会見で辞任が突然発表されていれば、225先物が急落し、週明けの東京市場にも大きな影響を与えていた」と見る向きが少なくない。

幹事長の4氏では政策が異なることから、誰が選ばれるかで投資家の動きが大きく変化しそうだ。石破氏は財政緊縮派で、岸田も安倍路線の維持を掲げているものの、財政再建論者で知られる新コロナ感染下で両氏のどちらかを選ばれれば、

有力候補の政策異なる

政調会長、河野防衛大臣、菅

8月28日に安倍首相が突然の辞任表明を行った。17時からの会見を前に14時頃に辞任報道が流れたことから、日経平均は一時的に614円07銭安の2万2594円79銭まで急落する場面があり、東京市場は波乱の動きとなった。その後、NY時間帯のナイトセッションの225先物は2万2940円引けとなっており、一旦は落ち着く動きとなった。ただ、今後、次期首相に誰が選ばれるかで、国内投資家はもとより海外投資家の動きが大きく変わる可能性がある。



緊縮財政による経済回復の遅れが懸念され、海外投資家からの売りが懸念される。一方、ネット上でも待望論が高い河野氏は外務大臣時代の2年1カ月で訪問した国と地域の数は延べ123と歴代最多を誇る。安倍政権時代と同様に外交面での期待が高く、マーケットはポジティブ視するだろう。菅氏も安倍路線踏襲で、大阪都構想への理解力が高く、大阪維新との連携で安定政権期待が高い。

今週の動意銘柄

任天堂12年ぶり高値

1Q営業益20倍で上振れ期待

週明け24日、任天堂(7974)が12年ぶり高値。21年3月期第1四半期決算は、連結売上高3581億600万円(前年同期比2.1倍)、営業利益1447億3700万円(同19.5倍)と大幅な増収増益となっており、通期予想の上ブレ期待が高まった。新型コロナ感染拡大を受け、自

公開価格の5.7倍

ニユーラルの初値 20日に東証マザーズに新規上場したニユーラルポケット(4056)がスト

ップ高。この日寄り直後に公開価格900円の5.7倍の5100円で初値をつけ、その後は値幅上限の6100円まで買われた。同社はAIエンジニアリング事業(独自開発のアルゴリズムによる画像・動画解析技術とエッジコンピューティング技術の活用によるソリューション提供)を行う。

アイ・エス・ビー(9702)

アイ・エス・ビー(9702)が急落。47万9000株の公募による新株式発行と上限7万1000株のオーバーアロットメントによる売り出しを行うと発表したことを受け、稀薄化と需給圧迫が懸念された増資による株式数は10.74%におよぶ。

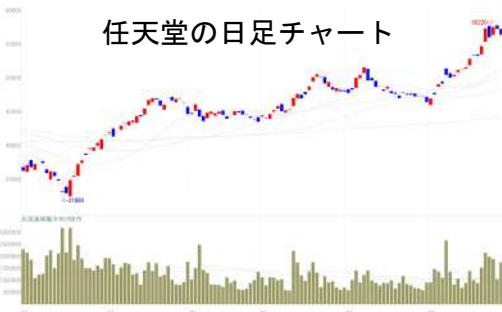
正直いいさんの株で大判小判

28日の東京市場は後場から急落しました。パウエルFRB議長の発言を受けNYダウが上昇、為替が106円80銭前後と円安に振れていることで主力株を中心に買いが優勢でしたが、安倍首相辞任報道を受け日経平均は一時前日比6%以上下落しました。率は下落傾向から、後継首打ち出され、ない限り、米国内で「レイバーデー」家の動きも活発を期待したいとマザーズ指数を後場から値を崩れ売り一巡後から戻す銘柄を選別して狙いを定めたいところと推奨銘柄でEduLab(4427)が最高値を更新しています。

花咲翁



任天堂の日足チャート



空運値上がりトップ

25日、JAL(9201)、ANAホールディングス(9202)が大幅高、空運株が業種別騰落率で値上がりトップとなった。前日の米株市場で国際線の一部を再開と伝わったデルタ航空が急騰、ボーイングも大幅高に買われるなど、米空運株高の流れが波

及した。米国では経済活動再開が近いと見られ、旅客需要回復期待から買戻しが優勢になった。

大和重工3.7%の自社株買

大和重工(5610)がストゥップ高。自己株式取得枠の設定を発表した。上限5万株(発行済株式総数に対する割合は3.69%)または5000万円、取得期間は8月25日(12月31日まで)。

ランシシステムS高

ランシシステム(3326)がストゥップ高。テレワークを推進する企業へ向けたりモートデスクトップソリューション販売を開始すると発表したことを受け、収益貢献を期待した買いを集めた。認証を済ませると遠隔地か

GATEK「DX名柄」選出

26日、GATEK(3491)がストゥップ高。経済産業

省と東京証券取引所による「デジタルトランスフォーメーション調査2020」に選定されたと発表された。不動産取引の包括的デジタル化による規ビジネスとビジネスモデル変革が評価され、今後の収益拡大が期待された。

テラスカイ一時S高

米セールスフォース急騰で連想

27日、テラスカイ(3915)が



騰、一時ストップ高まで買われ、実質最高値を更新した。米セールスフォース・ドットコム株が好決算発表を受け急騰したことをで、Salesforce導入支援実績で国内トップクラスをいく同社に連想買いが向かった。セールスフォースと資本提携するチーム

メガバンク米金利上昇

週末28日、三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)をはじめメガ

長期的なインフレへの思惑が高まるかたちで、米10年債利回りが前日比0.061%高の0.756%に上昇、米株市場でJPモルガン・チェースやバンク・オブ・アメリカなど大手金融株が買われた流れが波及した。

7)や子会社がパートナー契約を結んでいるOrchestrating(6533)も高い。

シヨーケースS高

シヨーケース(3909)がストップ高(449)との合弁会社プラップジャパン(2449)との合弁会社プラップノードが、広報PRのDXを推進する「PRオートメーション」β版を9月1日から提供を開始すると発表したことで、収益貢献を期待した買いを集めた。

フィードフォオ信用規制

フィードフォオス(7068)が反落。東証が信用取引の規制措置を強化したことで買い手控えられた。新規の売付、買付に係る委託保証金率を50%以上(うち現金20%以上)とした。

今週の動意銘柄

心踊る夏を彩る、巻き寿司の花火。

あじかんは、味と品質にこだわり抜いた幅広い製品で日本の食文化を支えます。

おい
つだ
って
お腹
も心
も
満
た
し
た
い。

ぎゅっと詰まった食べる喜び。

株式会社 あじかん

本社: 〒733-8677 広島県広島市西区商工センター一丁目3番9号
TEL 082-277-7010 FAX 082-277-7330

あじかん 🔍 検索
<http://www.ahjikan.co.jp>

潮流

幸福感で過熱相場終焉!!

裏付けない株高はいずれ限界

marKet / bAnk

S & P 500 種株 価指数 ベースで、8月25日時点で

は31倍と、月次データとしてさかのぼれる1881年以降では米ITバブルさなかだった高水準にある。また、米国の国内総生産(GDP)の多くを占める米個人消費も先行きに不透明感が漂ってきた。米コンファレンス・ボードが8月25日に発表した8月の米消費者信頼感指数は84.8と2カ月連続で低下し、2014年5月以来の低水準に落ち込んだ。

この指数は過去20年にわたりS&P500の動きと足並みをそろえてきたが、ここきて連動性が薄れ、逆の動きになってきている。ファンダメンタルズの裏付けを欠いた株高ともいえる。こうした状況を見越してか、主要株価指数に連動するETFからは、機関投資家の資金を中心に資金の流出が続いている。QUICK・ファクトセットによると、「SPDR S&P500 ETF トラスト」は8月25日までの3日間で、40億ドル(4250億円)の資金流出とな

った。現在の世界的な金融緩和策の拡大などで、過去に例がないほどお金の価値が下がっている。それだけに、史上最大の割高水準まで米国株が買われても不思議でないとの見方は多い。ただ、ファンダメンタルズの裏付けがない株高はいずれ限界がくるのも事実。日本でもマザーズ市場やジャスダック市場といった新興市場において、新規IPO銘柄や巣ごもり銘柄といったネット関連銘柄が個人投資家の買いを中心に異常な上昇を演じている。

8月11日にマザーズへ新規上場したティアンドエス(4055)は7010円で初値を付け、その後11連騰し2万9260円と4倍になった。8月24日に新規上場したニューラルポケット(4056)は5100円で初値を付け、27日には1万円を超え公募価格900円の10倍に跳ね上がった。明らかに買われ過ぎである。格言でもあるように誰もが簡単に大きな利益が出せるような幸福感の達成で過熱相場が終わる。

潮流銘柄はACCESS(4813)、KOA(6999)、ヤマシタヘルスケア(9265)。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテンツ「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中

機関投資家の資金流出



早期に安倍辞任消化へ

出遅れ景気敏感株などに注目

光世証券

取締役 西川 雅博 氏

28日後場になって突然安倍首相辞任のニュースが報じられ、この膠着相場に一石が投じられることになった。政治的安定という点では不透明感が増すが、金融政策面での影響は平時であればアベノミクスの終焉というネガティブサプライズのはずが、コロナ禍による世界的大規模金融緩和の真つただ中にあることで最小限に留まると考える。また、最近安倍政権の求心力が低下していたことが日本株の上値の重さの要因になっていたとも言え、首相辞任による値幅調整は軽微に終わる可能性が高いと見ている。当面は8年近くの長期政権が終わることの歴史的な意味と、次期政権の財政政策その他の重要政策を見極めようという市場の反応だろうが、現在の政局動向から政治的混乱や大きな政策転換はなさそうである。新しい首相になっても当面の金融財政政策に変化はなく、マーケットは比較的早い時期に安倍辞任を消化するであろう。コロナショック以降世界的に強気相場が継続してきたが、ここに来て米国株と日本株のパフォーマンスの格差が目立っている。指数を構成する主要企業が製造業である日本株の戻りの悪さは、コロナの影響が長引く業態が多いファンダメンタルズを反映していると言えよう。ただ、米国株に関しては、テクニカル的な過熱感がある一方、日本株はコロナ感染が悪化せず



相場展望

に好転した場合は割安水準が多く、中長期的には指数の日米格差は縮小に向かうのではないかと一部新興株に個人の資金が集中している格好だが、近い将来主力銘柄の巻き返しもあると見ており、特に9月中旬期を意識して出遅れの景気敏感株や鉄道、空運などのバリュ株に注目している。

株式投資に百中法なし・されど自信の的中率(門外不出)大伸流底値買投資成功法試見

- トヨタ → 5800~6000円買 → 目先7300円に上昇中一服後一段高の8000円台へ
- ANA → 2100~2200円買 → 目先2500~2600円一服後一段高の3000円前後へ
- JR東海 → 12000~13000円買 → 目先17000~18000円一服後一段高の20000円前後へ
- 三井金属 → 1700~1800円買 → 2690円に上昇次は3000円目標へ
- アルプス → 900円買前後買 → 1648円に上昇一服後再上昇の一段高2000~2500円へ
- コマツ → 1600~1700円買 → 2350円に上昇次は2600~2700円へ
- 東急不動産 → 400円前後買 → 470円に上昇中一服後一段高の600円へ
- 日本ケミコン → 1100円前後買 → 1900円台に上昇一服後一段高の2000円台へ

◎株は論より証拠・上記の如く大幅高予想銘柄ズバリお知らせします(1回無料)(成果確認)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員
 会費1ヶ月50万円、2ヶ月80万円(継続同額)(税込) 公表銘柄は一例であり全てではありません
 少数株会員制(相談自由) 目標値は当社独自の分析による予想値です
 投資成果に自信あり (電話等による入会勧誘は一切致しません)
 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

大伸経済研究社

電話058-243-5690(午前8:30~11:00)

〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2

インターネットでの資料請求は[ここをクリック!](#)

今週の

活躍期待銘柄



神戸天然物化学(6568)

通期は65%超の大幅増益

神戸天然物化学(6568)の株価は8月11日に1480円まで突っ込んだが、その後は目先の売りが一巡し、25日移動平均線まで戻す動きとなった。派手さはないが、実質無借金安定度からも6月23日高値1895円を指す動きが期待される。

有機化合物の受託研究・開発・量産を展開、機能材料と医薬、バイオの3本柱で事業を展開しており、主要ユーザーの多くを大手が占める。21年3月期はバイオ事業部門で、一部量産ステージ製品の販売終了が影響したこと、第1四半期(4~6月)の営業増益で800万円の赤字(前年同期200万円の赤字)ながら、開発ステージの特定製品の販売が第3四半期以降寄与することから、通期では9億5000万円(前期比65・4%増)と大幅な増益を見込んでい

特定製品が3Q以降貢献へ

特定製品が3Q以降貢献へ



BBSec(4398)

今期17%営業増益も最低線

ブロードバンドセキュリティ(4398)は中段保ち合いを上放れてきた。コンサルからシステム構築・運用、ソフト開発までを手掛けるセキュリティサービス会社で、テレワーク普及や相次ぐ大企業や通信事業者へのサイバー攻撃を背景に受注が拡大。案件大型化と生産性向上により、20年6月期は営業利益3億4200万円(前期比2・8倍)と収益が急拡大した。21年6月期も4億円(前期比16・9%増)と2ケタ超の増益を見込むが、新型コロナ感染状況を踏まえ、慎重に見積もった数字で、セキュリティニーズはさらに拡大しており、前期同様上方修正に進む可能性が大きい。6月に年初来高値3650円をつけてから日柄、値幅とも調整完了、本格反騰へ体制が整い、次は最高値4030円が目標になる。

セキュリティニーズ更に拡大

※チャートは日足



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

週は9月限のプットにやたら買いが入ってくるといわれる。印象だつたので、辞任の情報は漏れてしまったのかも。先物だといふと、動きがばらばらで、プットの



安倍辞任の影響は？

2万2594円79... 金曜日の急落では... 調整局面入りを示唆している。新値三本足は陰転、陽転した後は暫くそのトレンドで足を作る傾向にあり、今回は暫く下落する可能性が高いと思われる。

9月SQまで後2週間、9月相場は荒れそうな気配であるが、プットの「アウト・オブ・ザ・マネー」のプレミアムを少しづつ売りで仕込んで先物で売りも入れる「カバー・ドット」で対応してみたい。

(ハチロク)

先週の日経平均は前週比約37円安で引けた。火曜日には2万3431円04銭の新型コロナウイルスショック後の最高値を付けたが、金曜日には場中に「安倍首相、辞任」の報道により下落。一時

は高値から5分間で約713円下落し、パニック的な下げとなった。もともと薄商いのところに報道に反応したアルゴリズム取引が発動した感じであるが、久々の動きに気が引き締まった。

次は首相も当面は安倍首相の政策路線を引き継ぐと思われるので深押しはないと思われる。しかし、今週はチャートでは上値が重たそうだ。一目均衡表の基準線(2万3013円)を割ってきっており、調整色が強まっている。さらに新値三本足も週末の下落で陰転し、調整局面入りを示唆している。

銭まで瞬間下落したが、その後には買いも入ってきていたようでも重そうだ。また、米中間の緊張感が高まってきていることから、今週も米国株の動きを見ながらの相場展開となるだろう。レンジは2万2500円から2万3300円を想定する。

米国株見ながらの展開

辞任ショックも深押ししない

で利益をとる戦略だったようだ。今後は誰が首相になるのが注目されるが、政権交代ではないのでそれほど悪影響はでないと思われる。確かに安倍首相の辞任は安定政権ゆえに日本株を買っていた海外投資家にとってマイナスマテリアルではあるが、

日経225先物日足チャート



星野三太郎の株街往来

～制裁より性能で勝負～

米商務省が、中国の通信機器大手の華為技術(ファーウェイ)に対する追加制裁を発表した。ある程度は予想されていたこととはいえ、ファーウェイは外国製半導体の供給を断たれ、深刻な打撃を受けることから、日本や韓国の電子部品メーカーへの影響が懸念されている。

身近なところでは、大手携帯会社のサブブランドや格安携帯会社(MVNO)の多くで中国製スマホが売れ筋となっていたことから、今後、ファーウェイ以外のメーカーにも制裁となれば、アプリやOSのアップデートで不安視するユーザーが増えるだろう。

米国企業であるアップルのiPhoneが安心して使える端末だが、最新機種は比較的高価で、MVNOでは数年前の型落ち端末しか取り扱っていないところもある。最近ではソニーなども値頃感ある端末を発売しているが、価格と性能のバランスが良い中国製に比べて見劣りは否めない。いろいろな意見はあるかと思うが、制裁で使えなくなるよりは、日欧米のメーカーが安く高性能な端末を発売して、中国製の魅力を失くすことも重要でないだろうか。



New product

ナカバヤシ カラーバリエーションと機能性
働く女性に寄り添うステーションナリー



ナカバヤシ(7987)は「がんばるあなたに寄り添う文房具」をコンセプトにしたステーションナリー「w/U-watashi no sobani」(読み：わたしのそばに)シリーズを9月上旬に全国で新発売する。

メモ、付箋、レターブックの7種全31品番をラインアップ。毎日使用するステーションナリーを自分の好みに合わせて選べるように、カラーバリエーションを豊富に展開しており、組み合わせでカラーコーディネートを楽しむこともできる。また、機能面にもこだわり、本体サイズや本文野などの種類が豊富で、使うシーンや好みに合わせて選ぶことができる。豊富なラインアップで、毎日使う物だからこそ好きなものを選びたいという女性にぴったりのステーションナリー。

ライフアフターとコラボ

カプコン

バイオハザード、期間限定で



カプコン(9697)の「バイオハザード」シリーズが、Nes Game esより好評配信中の「最終サバイバルスマホゲーム」コラボ「ライフアフター」(iOS Android)とコラボ

豪華なログイン報酬やバイオハザードのイメージを表現した限定アイテム、さらにバイオハザードの登場キャラクターも実装される。

「バイオハザード」の世界で惨劇の元凶となった巨大製薬企業「アンブレラ社」が「ライフアフター」の世界に侵入、この世界でもさまざまな事件を巻き起こす。

コラボ期間中、「バイオハザード」の世界で惨劇の元凶となった巨大製薬企業「アンブレラ社」が「ライフアフター」の世界に侵入、この世界でもさまざまな事件を巻き起こす。

「バイオハザード」コラボレーション(写真)を実施、9月10日までの期間限定で開催している。

コラボ期間中、「バイオハザード」の世界で惨劇の元凶となった巨大製薬企業「アンブレラ社」が「ライフアフター」の世界に侵入、この世界でもさまざまな事件を巻き起こす。

企業レター

記者の視点 相場見通し

安倍ショックは一過性?

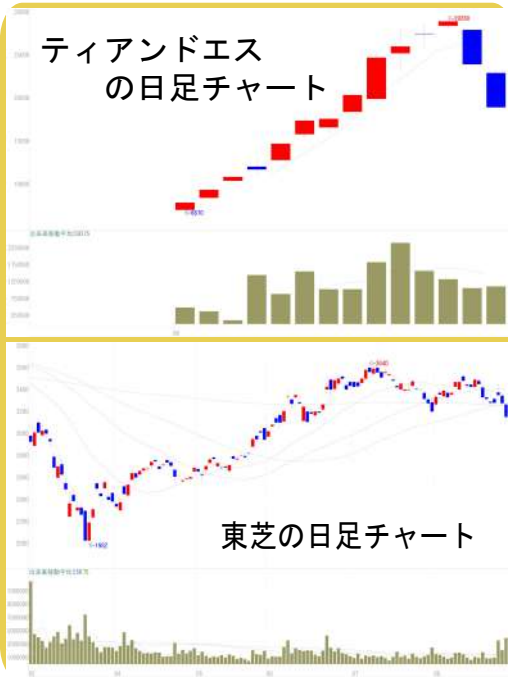
大型IPO需給への影響注視

8月第4週の東京市場は引き続き高値圏での揉み合いとなった。注目されていたジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の会見では米国の完全雇用を復活させ、物価を健全な水準に戻すための積極的な新戦略を発表、インフレ率が一時的に2%を上回ることを容認し、長期的に平均2%の目標達成を目指すことに加えて雇用最大の確保を図る内容が好感され、27日のニューヨーク

1ク市場では3指数ともに最高値を更新している。一方、東京市場に関しては安倍首相辞任報道を受けて後場は一時前日比614円07銭安の2万2594円79銭まで急落する場面があった。自民党の二階俊博幹事長は「辞任はない」と否定していたことから、先物主導でショック的な売りを浴びたが、時間外のNYダウ先、上海や香港はこれに反応なくプラスを維持していることから、後継首相が判明すれば、戻している

業生産、9月1日に7月失業率・有効求人倍率の発表が控えているが、海外指標以外はマーケットへの影響は限定的だろう。

ただ、9月はメジャーS&Pや中間期末に向けた動きが重なり値の荒い傾向があり、過度な強気を避けて機敏に行動したい。新興ではティアンドエス(4055)などが散見され、1部のバリュエーションを含めて物色の方向性を確認したい。IPOでは東芝(6502) 保有のキオクシアHD(6600)など大型IPOが控えており、需給面での影響も注視。



性が高い。今週海外は

今週のスケジュール

- ・ 31日 7月商業動態統計、7月鉱工業生産 (8:50)
中国8月製造業PMI (10:00)
- ・ 1日 7月失業率・有効求人倍率 (8:30)
4-6月期法人企業統計 (8:50)
8月自動車販売台数 (14:00)
米8月ISM製造業景況指数 (23:00)
- ・ 2日 8月マネタリーベース (8:50)
米8月ADP雇用統計 (21:15)
- ・ 3日 米8月ISM非製造業景況指数 (23:00)
- ・ 4日 米8月雇用統計 (21:30)

週末後場は安倍首相辞任の意向との報道に大荒れ。7年8カ月続いた長期政権が交代することはやはり大きなマイナスというところだろう。アベノミクスが海外投資家の買いを呼び込み、株価上昇をリードしてきただけに、日経平均の下げ幅は一時600円を超えた。ただ、健康問題による辞任はあらかじめ予想されていたこと、このところの海外投資家の買いはショートカバーが主体、一時的なショック安との見方もある。暑さが厳しい折、土、日は体を休めて、週明けの反応を見極めたいと思う。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。